

座談会

広報紙で見る 八潮の歩み



すすき たいじ市長



はつやま まことさん



ふるつよし 65歳さん

「広報やしお」が、昭和四十年四月に創刊号を発行して以来、今号で三百号を迎えることができました。この間休むことなく八潮の移り変わりを紹介し、また、数えきれないほどの皆さんに登場していただいた「広報やしお」。

今号は記念特集号として、十一月にオープンする資料館で皆さんと一緒に八潮の歩みを振り返ってみたい。

広報は皆さんと

市政を結ぶパイプ役

司会 三百号を記念して、今まで広報に登場していただいた方の中から、三人の方にもう一度お話をいただき、鈴木市長を交えて座談会を行うことになりました。よろしくお願ひします。

市長 創刊された昭和四十年には、私は収入役として当時の役場につとめていました。今回で三百号ということで以前発行された広報をめぐっていきくと、昔の思い出が次々とよみがえってきました。三

年九月十日発行のときに「私たちの作品」というコーナーがあり、教室の花を描いた絵画が学校で選ばれて載せていただきました。家族が喜んでくれたのを思い出します。

当時、第六小学校の五年生でしたが、現在都内でスィミングクラブのインストラクターをしています。

初山 私は昭和五十七年の正月に出た第二号で、いぬ年生まれの市民が新年の抱負を語るコーナーに、顔写真と抱負が載りました。私は電気工事店を経営しています。「広報見たよ」って言われましてね。広報は随分多くの人に読まれているんだな、と改めて思いました。

市長 広報やしおが発行される前には、公民館で編集、発行していた「八潮だより」がありました。八潮だよりは、三村合併直後の昭和三十三年三月から四十年三月まで八十三回発行されましたが、これを町全体の広報活動として更に積極的に取り組んでいくために、町役場発行の「広報やしお」にバトンタッチすることになりました。

広報紙は単に役所からの一方通行のお知らせで終わるものではないですね。広報紙を通じて話し合う、広報紙を通じて皆さんにまじり、市民の皆さんと市政を結ぶパイプ役としての重要な役割を持っているんです。

出席者の横顔(敬称略)

- ☆ 鈴木孝治 八潮市長
- ☆ 古姓則子 (八條) 創刊号に顔写真が掲載される
- ☆ 中坪百合子 (大瀬) 第100号に絵画が掲載される
- ☆ 初山 実 (八潮三) 第200号に顔写真と抱負が掲載される
- ☆ 豊田弘信 秘書広報課長(司会)

町から市へ

八潮は年々急成長

初山 広報の創刊号が出た昭和四十年当時と比べて、私の家のまわりを見ても、随分変わったなという感じがしますね。

市長 そうですね。そのころは道路の舗装をしていないところが多かったんで、住民の皆さんの要望も道路舗装が一番でしたね。若い女性が、砂利道で通勤していた一カ月でハイヒールをだめにしてしまう、という苦情もありました。



すすき たいじ市長

晴れるとほこりが舞い上がるし、雨が降ると大きな水たまりができる状態でしたから、特に道路舗装は積極的に進んでいました。広報を見ても道路のことは多かったですね。

中坪 人口も、だいぶ増えましたね。

市長 その当時、人口は一万九千人、世帯数は四千だったのが、昭和四十四年には人口三万人を突破、四十八年には五万人、五十四年には六万人を超え、昨年十月には七万人突破、世帯数も二万一千を数え、急激な変化を物語っています。

古姓 私の家は八條で、市内でも比較的農地が多いようです。以前は外に出ると田んぼだらけだったのですが、農業もだいぶ変わりましたね。

市長 農家戸数は昭和四十年当時千二百七十七戸を数えていたのが、六十年には五百三十二戸と半減、農家人口も二千六百二十五人から千二百三十九人と半分以下になっています。耕作面積は千六百九拾から三百七拾と大幅に減ってしまひ、かつて江戸の米蔵といわれた純農村地帯の面影も薄れてきました。

しかし、若い農業後継者で組織する青耕会などが中心となって、新しいパイオ野菜「千宝菜」の栽培や香りの出るハーブ野菜など、新時代の農業に取り組む動きも出ています。

それと同時に商工業が一気に増えてきたわけです。大規模な工業団地ができ、また商店も次第に増えていきました。

初山 ヘリコプターで農業の空中散布をしていたのを覚えてます。

市長 今でしたら大変なことになるってしまひますよね。当時は少ない労働力で効率の良い農業経営



▲ 昭和40年当時の
バス乗降風景
町役場庁舎 ▶

▼ 広報やしお創刊号



初山 ヘリコプターで農業の空中散布をしていたのを覚えてます。

市長 今でしたら大変なことになるってしまひますよね。当時は少ない労働力で効率の良い農業経営

中坪 このときに市になったわけですね。

市長 そうです。人口三万人以上など特別措置法の定める市としての要件が揃わり、町民の皆さんの意向も打診して、昭和四十七年一月十五日、埼玉県で三十四番目の市として市制を施行しました。

新市長に 藤波 彰氏

任期満了に伴う八潮市長選挙は、七月二日投票、翌三日開票の結果、無所属の藤波彰氏が初当選しました。投票率は六一・七八%でした。

◎藤波 彰 一〇九三四票
福岡さとし 一〇五二票
ふくの幸央 七五六一票

を行うために実施しました。広報の見出しを見ても、「ウソカの大量発生と今後の対策」「豚コレラの予防注射」「農村青少年クラブ発足」など、農業関係の記事は多かったですね。

中坪 団地ができたのはいつごろだったでしょうか。

市長 昭和四十六年に八潮団地や伊草団地が完成して入居が始まりました。このころまでは、人口増といってもゆるやかなカーブを描きながら増えていきましたが、この昭和四十六年を境として急激に増加しています。町当局としても行政需要が多く苦勞した時代でしたね。

この二つの団地の入居を境として、民間住宅の建設も拍車がかかり、昭和四十四年から四十八年までの四年間で、人口は約二万人増え、住宅は約四千戸増加しています。

司会 第百号の広報やしおは、昭和四十八年九月に発行されました。中坪さんは、その中で絵画作品が紹介されたわけですね。

中坪 各学校の作品を順番に紹介するコーナーがあり、たまたま第百号が第六小学校の番だったのですが、「教室の花」という題の私の絵が学校で選ばれて広報に掲載しました。私もうれしかったのですが、家族が大喜びで。その絵を額に飾ってくれました。

市長 第百号は私が市長として初めて広報に出た号なんです。

区画整理を積極的に

思い出深いですね。昭和四十八年七月の市長選挙で初当選しましたが、この号にその結果と私の基本方針が載りました。四期十六年の任期を振り返ると、時の流れの速さを感じますね。



初山 移り変わりが激しい時代でしたから、市長さんも大変だったでしょうね。家を建てるにも基礎が大切のように、八潮の基礎固めをガッチリやっていたと思います。だからね。私の住んでいるところは、以前「大原」と呼ばれていた。昔は車で入れないような狭い道が多かったのですが、区画整理が終わり、道路はきちんとするし、いい公園はできるし、環境がずっとよくなりましたね。

市長 八潮の「基礎」づくりをするために、土地区画整理事業や

治水対策などを中心とした都市基盤の整備を積極的に進めてきました。特に、区画整理は「まちづくりの母」といわれています。

中坪 私の住んでいる八潮地区も区画整理が始まったようですね。市内ではどのくらい進んでいますか。

市長 八潮の区画整理は昭和四十六年にスタートしましたが、市全体の五八％にあたる市街化区域面積のうち、三五％が完成あるいは着工中で、面積は四二〇・七ヘクタールに及んでいます。

内訳は、区画整理事業が完了した中央一丁目から四丁目と八潮一丁目から八丁目、それに草加八潮工業団地（県施行）を合わせると二二三・四ヘクタールになります。

そして、稲荷伊草第一・第二土地区画整理事業と鶴ヶ曽根二丁目土地区画整理事業の三地区（面積

約一四・一ヘクタール）を合わせると、八潮市全体の区画整理率は、約五八％になります。

中坪 八潮市全体の区画整理率は、約五八％になります。八潮市全体の区画整理率は、約五八％になります。



▲市制施行記念式典



▶広報やしお第100号

一四五・一ヘクタール）を施行しています。また、中坪さんが住んでいる大瀬は、今年二月に大瀬古新田土地区画整理事業（五二・二ヘクタール）として施行中です。さらに、西袋柳之宮地区（五四・四ヘクタール）も早期事業化をめざして準備を進めているところなんです。

治水対策も優先的に

初山 以前は大雨が降るとよく水害に見舞われていましたが、治水対策というのはお金と時間がかかる

から大変な仕事でしょうね。市長 八潮市は、中川・綾瀬川などに囲まれた海抜二・三メートル以下の低湿地です。でも昔は七〇％近くが田んぼでしたので、雨が降ってもそれが遊水池の役目を果たしていたんです。しかし、都市化とともに田んぼがどんどん埋め立てられてしまうと、どうしてもまちにあふれてしまう、これは都市型水害と呼ばれています。

私は市長に就任して以来、治水対策は最優先課題の一つで、中でも排水機場の整備に重点を置いてきました。

現在完成して供用開始しているのが、南後谷、木曽根、中馬場、浮塚、圀川（県施行）などの九カ所に加え、七月六日に古新田排水機場の通水式が行われました。なお、島内（大瀬地内）と西袋は建設中です。



はつやまことさん

また、大正幹線都市下水路は、総工費約三十億七千二百万円を投入し、延長二九四五メートルが今年三月に完成しました。

昭和四十九年から始めた公共下水道事業の普及率は一八・一％で



ふるしやうのりこさん

あり、市内で下水道を使える区域は一七六・一ヘクタール（昭和六十三年期末）になりました。

古姓 ごみ問題は一時大変でした。

市長 印象に残るのは、昭和五十年ごろのごみの不法投棄問題です。都内から出された建設残土や廃材などが昼夜を問わず不法に市内に持ち込まれ、私も作業服とヘルメットをつけて、職員と一緒に夜間パトロールや都内から進入してくる大型ダンプの検問に立ち上がったものです。

東部清掃組合の第二清掃工場建設問題については、地元住民の皆様のご理解とご協力をいただき、お陰様で公害のない施設をつくることができました。

また、懸案となっていた資源リサイクルセンターも昨年完成し、順調に稼働しているところです。

先日、ゴミゼロ運動発祥の地で清掃問題の先進都市といわれる愛知県豊橋市の視察団が八潮に来て、リサイクルセンターや八潮のごみ収集体制を参考にしたい、と調べて行ったほどです。

昭和40・4・10	「広報やしお」創刊。当時の人口18689人世帯4036（第1号・写真）
昭和41・6・10	新町議決まる（町制施行後初の選挙）（第7号）
昭和42・5・10	公民館で七歳の子の合同祝い（第8号）
昭和43・3・10	養豚研究会発足。町内で1500頭の豚を飼育（第9号）
昭和44・1・10	農業空中散布を始める（第15号）
昭和45・11・10	第一小学校にプールが完成（第17号）
昭和46・3・10	町合併10周年記念式典を開く（第18号）
昭和47・2・10	新町長に太田武夫氏就任（第24号）
昭和48・2・10	八潮中学校にプールが完成（第27号）
昭和49・7・10	埼玉国体開催。八潮中鈴木完二先生教員男子の砲丸投げで第2位になる（第30号）
昭和50・6・10	八潮・潮止支所を廃止（第34号）
昭和51・1・10	草加八潮工業団地の竣工式（第41号）
昭和52・1・10	「郷土のめきし」掲載始まる（第43号）
昭和53・2・10	八潮浄水場が完成（第44号）
昭和54・10・10	「潮文庫」が教育委員会内に誕生。農村青少年クラブ発足（第45号）
昭和55・11・10	県道草加松戸線の潮止橋二丁目若柳間の舗装が完成（第49号）
昭和56・10・10	八潮町体育協会が発足（第51号）
昭和57・10・10	人口3万人を突破。西袋、中島正雄・光子さん夫妻の長男：勇一くん。新町議誕生（第53号・写真）勇一くん
昭和58・10・10	市街化区域と市街化調整区域（都市計画法）に分かれる（第66号）
昭和59・10・10	有線放送を廃止（第70号）



役場新庁舎（現市役所）が完成（第79号）

市制施行（八潮市となる・1月15日）（第81号）

行政事務の合理化のためコンピューターを導入する（第86号）

新市長に鈴木慶助氏就任（第88号）

県立八潮高校が4月に開校（第93号）

新市長に鈴木泰治氏就任。「八潮音頭」が誕生（第100号）

新市議が決まる（女性を含む30人）（第101号）

人口5万人を突破。木曾根、大山昭良・康子さん夫妻の長男：晃康くん（第103号・写真）

第三小学校に体育館が完成（第110号）

八潮市産業物越境投棄防止対策協議会が発足（第121号）

ごみの越境投棄監視体制を強める（市内3カ所に検問所を設置）（第132号）

共和橋老朽化のため二輪車通行止（第125号）

村から町へ、町から市へ20年の歩み（合併20周年市制施行50周年記念特集）（第128号）

古新田保育所オープン（第132号）

中央公園、上馬場公園が完成（第139号）

老人福祉センター「寿楽荘」完成。第一回剣道大会（第140号）

南公園オープン（第146号）

鈴木泰治氏市長選に二期連続当選（無投票立選）（第147号）

八潮市畜産協会発足（第149号）

オーストラリアで行われた「第2回東太平洋身体障害者スポーツ大会」で玉川敏彦さんが、金・銀・銅メダル獲得（第152号）

第九小学校と第四中学校が4月にそれぞれ開校（第154号）

市立体育館・公民館（文化スポーツセンター）が9月1日オープン（第159号）

20メートルまでのびるはしご車を購入（第160号）



12月



すずき たいじ市長

明日に向けて

伸びゆく八潮

司会 第二号は新年号にあたり、カラー印刷でした。この二百号には初山さんが掲載されましたね。初山 最初はね年生まれでしてね。ちょうど二百号が出た昭和五十七年がね年だったもので、他の五人の方と一緒に「新春に思う」というコーナーに出させてもらいました。確か、民謡大会を成功させた、仕事を速く確実にやりた、というような内容だったと思います。



すずき たいじ市長



なかつほ ゆりこさん

な関根将雄画伯に描いていただきました。

古姓 私の出身校である八潮中学校が新しくなるそうですが、旧三村が合併したときの統合中学校として昭和三十六年から三十八年にかけてつくられました。できた当初は、近隣で最も進んだ施設として各地から視察に来たものです。その後、増え続ける生徒を吸収するため増築を重ねていきましたが、老朽化が著しく今回の改築となったわけです。

市長 来年三月には、市役所西隣に待望の文化会館が完成し、六月ごろにはオープンできる予定で、急ピッチで工事が進んでいます。これができると、初山さんたちの民謡大会も音響設備の整った舞台で素晴らしい大会ができるでしょうね。五百二十四席のホールを備えた、鉄筋コンクリート造り三階建ての建物で、どんな原画は日本画家として全国的に有名な

来年三月までに校舎を完成させ、平成三年度には体育館・プールなどが完成する予定です。新校舎は鉄筋コンクリート造り四階建てとなります。

古姓 昔の校舎がなくなるとさみしい感じもしますが、一つの時代の変わり目ですね。

中坪 私は小学校のとき、二小から四小、六小と、三校を経験しました。大瀬(中川の東側)の自宅から、潮止橋を渡って第二小学校まで通って行くのは大変なことでした。慣れた友だちと別れるのは残念でしたが、家の近くの、しかも新しい校舎に入るといふのはうれしかったですね。

次々と

学校建設を

市長 人口が増えて、それも若い世代が増えていくと、必然的に義務教育施設が足りなくなってきた



広報やしお第200号

▼昭和40年当時の八潮中学校



そこで、昭和四十八年から五十五年にかけて、第四小学校から第十小学校までの七つの小学校を、それに第二中学校から第五中学校を次々と建設しました。学校をつくるときは三点セットといって、校舎、体育館、プールを合わせてつくっていき、八潮の義務教育施設は県下でもかなり優秀なレベルだといわれるようになったんですよ。

司会 今日は完成したばかりの市立資料館で座談会を行っています。中坪 明るくていい雰囲気ですね。開館はいつごろになる予定ですか。

市長 市立資料館はこのほど完成して六月十日竣工式が行われました。県東部地区では初めての施設で、県内屈指の内容といわれています。昭和五十年から収集してきた地域の文庫や民具などの資料約四万五千点を保存しています。開館は、半年間の乾燥が必要のため、十一月二十三日となります。古姓 八潮も文化の薫り高いまちに育っていくことでしょう。



はつやま まことさん

埼玉の東の玄関に



ふるしょう のりこさん

初山 ここ数年、広報に鉄道のことが載るようになってきました。

市長 市民全員の願いである常磐新線については、平成十二年に開通の予定となっております。先月も直接、山村新治郎運輸大臣にお会いして陳情を行い、今年は正式に調査会社ができるだろうとの回答をいただきました。

また、地下鉄八号線の誘致運動も続けており、北部では外環状道路、東埼玉道路の工事が進んでいる現在、八潮が埼玉の東の玄関となるよう、着々と目標に向かって歩み続けているところです。

広報で八潮の歴史を振り返ると、様々な思いが胸をよぎりますね。

司会 広報紙で八潮の歩みを振り返って、皆さんとお話をさせていたいただきました。広報やしおは皆さんと共に歩みながら三百号を迎えました。またこれからも、休むことなく親しまれる広報紙づくりにつとめていきたいと思っています。

昭和54・2・10 第1回ゲートボール大会開く(第163号)
商工会館が完成。稲荷伊草第一土地区画整理事業認可(第165号)
4月から全小学校(10校)で学校給食が始まる(第167号)

昭和55・2・10 八潮公園テニスコートオープン。坂川排水機場が完成(第177号)
大瀬運動公園オープン(第182号)
商工まつりで第1回ミス八潮コンテスト開催。初代ミスに北島ひろみさん
4月から中学校(5校)で給食始まる(第190号)
コミュニティセンターが完成。新共和橋開通する(第191号)



やしお

昭和56・3・10 鈴木泰治市長選に三期連続当選(第195号)
第一土地区画整理地内の町名が中央一丁目、四丁目に決まる(第198号)
福祉作業所がオープン。新しく社会児童課が誕生(第204号)
声の広報録音始まる(八潮高校演劇部) (第205号)
東部清掃第二工場が完成(第214号)
図書館・公民館オープン(第215号)
市制10周年記念大会。市の木「イチヨウ」市の花「クちなシ」が決まる(第217号)
綾瀬川で不発弾を発見(旧日本軍の60キロ爆弾)無事回収。(第219号)
第1回さいたま郷土かるた八潮大会開催。優勝：個人木津川弘美さん、団体大曾根中子ども会(第225号)

昭和57・5・10 福地作業所がオープン。新しく社会児童課が誕生(第204号)
声の広報録音始まる(八潮高校演劇部) (第205号)
東部清掃第二工場が完成(第214号)
図書館・公民館オープン(第215号)
市制10周年記念大会。市の木「イチヨウ」市の花「クちなシ」が決まる(第217号)
綾瀬川で不発弾を発見(旧日本軍の60キロ爆弾)無事回収。(第219号)
第1回さいたま郷土かるた八潮大会開催。優勝：個人木津川弘美さん、団体大曾根中子ども会(第225号)

昭和58・3・10 東部清掃第二工場が完成(第214号)
図書館・公民館オープン(第215号)
市制10周年記念大会。市の木「イチヨウ」市の花「クちなシ」が決まる(第217号)
綾瀬川で不発弾を発見(旧日本軍の60キロ爆弾)無事回収。(第219号)
第1回さいたま郷土かるた八潮大会開催。優勝：個人木津川弘美さん、団体大曾根中子ども会(第225号)

昭和59・2・10 第1回ゲートボール大会開く(第163号)
商工会館が完成。稲荷伊草第一土地区画整理事業認可(第165号)
4月から全小学校(10校)で学校給食が始まる(第167号)

昭和60・1・1 南後谷排水機場通水式。勤労青少年ホーム・体育センターオープン。八潮南高校が4月に開校。看板娘・さわやかグループの掲載が始まる(第228号)
第二常磐線(常磐新線)の陳情で鈴木市長が運輸大臣と会見(第234号)
首都高速道路・常磐高速道路開通(第236号)
湖郷橋開通(八潮の飯山辰蔵さんご一家が渡り初め)(第237号)
市民温水プール・老人福祉センター「すえひろ荘」がオープン(第240号)
運輸政策審議会各申で八潮に常磐新線(第242号)

昭和61・9・10 鈴木泰治市長選に四期連続当選(第243号)
住民情報オンラインシステム稼働(第244号)
市行革推進委が行革大綱を各申(第245号)
台風10号の大雨で市域の40%が浸水(第256号)
八潮第二土地区画整理地内の町名が八潮一丁目、八丁目に決まる(第257号)
保健センターで機能訓練を開始(第265号)
県知事と八潮・三郷両市長が常磐新線予定地を空から視察(第267号)



やしお

昭和62・6・10 さいたま博で「八潮市の日」開催(第276号)
資源リサイクルセンター稼働(第277号)
広報やしおお知らせ版が99号をもって終了。毎月10日・25日の月2回発行となる(第280号)
人口7万人を突破。7万人目は、八潮四、平井敏夫・よし子さん夫妻の長男：拓真くん(第287号・写真)
常磐新線導入促進期成同盟会が基調講演会を開く(第292号)
メヌエットの曲のついでに防炎無煙開始(第293号)
身体障害者福祉センター「やすらぎ」が完成(第296号)
県東部地区初の市立資料館完成(第299号)
本号で広報やしおは300号となる。